## 地域の安全・安心を担う建設業 vol.2

## 地域の安全・安心の役割を担う建設業で働く皆さんの写真展

建設業で働く皆さんが県内各地で活躍する姿や魅力を伝えるため、写真展を開催しました。 期間 令和3年7月26日(月)から7月30日(金)まで 場所 三重県庁1階県民ホール(津市広明町13番地)



## 地域の安全・安心の役割を担う建設業で働く皆さんの写真展

地域の建設業は、県民生活に必要不可欠な社会資本の整備・維持修繕はもとより、地域の安全・安心や雇用の確保など、重要な 役割を担っています。

日々、私たちの生活を支えている建設業で働く皆さんが、県内各地の現場で活躍している姿をご覧ください。



タイトル	「なにしてるの?」
出展者	丸亀産業株式会社
撮影場所	松阪市松崎浦町
写真への思いなど、	通りがかった小学生、工事案内看板を見て興味津々。 作業員が同じ目線で説明しています。 将来建設業を目指してくれるといいな。



タイトル	「二人三脚で災害復旧」
出展者	熊野建設事務所
撮影場所	南牟婁郡御浜町中立
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	令和元年に被災した河川護岸を女性技術者が現場代理人・主任技術者として取り組んだ工事です。同時に県の専任監督員も女性で、女性の現場進出が進んでいる光景といえます。



タイトル	「建設現場で輝くけんせつ小町」
出展者	北勢水道事務所
撮影場所	三重県四日市市伊坂町地内(伊坂浄水場内)
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	建設業における女性活躍については、平成26年8月に策定した 「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を契機に、伊坂浄水場 耐震補強工事では、多くの女性スタッフが第一線で活躍していま す。



タイトル	「引き続き、気を引き締めて」
出展者	伊賀建設事務所
撮影場所	伊賀市 平野清水
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	大きなトラブルもなく桁架設が無事完了。現地の景色が一変しました。一息つきたいところですが、国体開催に合わせた供用に向け、まだまだすべきことが沢山あります。 まずは、気を引き締めて床版工に取り掛かります。



タイトル	「洪水から住民を守る」
出展者	伊勢建設事務所
撮影場所	伊勢市小俣町 地内
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	当該河川は、堆積土砂が多く大雨のたびに洪水の心配がありましたが、ICT施工により土砂の撤去を行い河川の流水断面の確保を行っています。現場では女性監督員が活躍しています。



タイトル	「持続可能な施設・技術を次世代へ」
出展者	北勢流域下水道事務所
撮影場所	南部浄化センター脱水機棟地下管廊部(四日市市楠町 地内)
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	南部浄化センター脱水機棟地下施設にて若手技術者とベテラン技術 者による鉄筋位置の墨出し作業中です。稼働中の施設の耐震補強工 事で若手技術者が学びながら現場を支えています。





タイトル	「現場でのひと時」
出展者	桑名建設事務所
撮影場所	鍋田川耐震補強工事
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	真夏の暑い日差しのなか、地域の建設企業で働く方が、津波に負けない強靱な堤防にしてくれたので、県民の安全が守られています!



タイトル	「きめ細かな品質・出来形管理」
31170	「この間がな四貝・山木が自垤」
出展者	伊勢建設事務所
撮影場所	度会郡度会町 地内
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	歩道が無く、非常に危険な状態となっている道路に歩道を設置し、安心で快適な道路空間の整備を行っています。女性ならではの目線で品質や出来形管理を行うことにより、今まで見落とされていた箇所等が新たに発見され、構造物の品質や出来ばえが向上します。



タイトル	「高所作業」
出展者	志摩建設事務所
撮影場所	鳥羽市河内町
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	ダム建設のための工事用道路整備の現場。切り立った斜面で安全を 確保する命綱をつけモルタル吹付を行っている作業員の方々。 洪水被害を防ぐダムの一刻も早い完成のため、迅速に、そして慎重 な作業が続きます。



タイトル	「トンネルを守る」
出展者	志摩建設事務所
撮影場所	鳥羽市河内町~鳥羽市堅神町 地内
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	車が通らない深夜のトンネル。ライトで照らされる中、高所作業車のゴンドラに乗って念入りにトンネルの補修工事を行っています。 このような地道な作業により、通行車両の安全が守られています。



タイトル	「次の時代を担う」
出展者	中南勢流域下水道事務所
撮影場所	宮川流域下水道(宮川処理区)明和幹線(第6工区)管渠工事(多気郡明和町 地内)
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	下水道の管渠は工事が完成してしまうと、人孔以外は人目につくことがありません。この工事では次の時代を担う高校生の皆さんに、下水道というインフラの必要性を知っていただくとともに、建設業の魅力を感じていただくために、受注者の協力を得て、現場見学会を開催いたしました。



タイトル	「セオドライトのぞいてみますか?(現場見学会のひとコマ)」
出展者	(一社)三重県建設業協会 伊賀支部
撮影場所	伊賀市平野清水〜服部町地内(新服部橋架け替え工事現場)
撮影時の状況、 写真への思いなど、 コメント	伊賀市立城東中学校2年生現場見学会に来て頂いた生徒さんに測量器械を体験してもらいました。 「こんなに良く見えるんですね。」とは、生徒さんの弁。